

水稻の水管理対策について

平成 29 年 7 月 12 日

福井県農業総合指導推進会議

- 地域や集落で用水系統や団地毎に入水時間を申し合わせるなど、計画的に用水供給を行い、節水に努める。
- 出穂期を迎えるハナエチゼンは干ばつにより大幅な減収となり、幼穂形成期のコシヒカリ、いちほまれは籾数の減少につながることから、土壌の水分保持に努める。
- 用水が不足しやすい地域では、かけ流しをせずに節水に努めるとともに、田面のひび割れによる漏水が発生しないよう、圃場の見まわりを行う。
- 特に、深刻な水不足が懸念される地域では、排水路からのポンプアップの準備を進める。